

Naskéoとサンエス電気、上田組

循環型社会形成で連携

バイオマス発電事業を展開

酪農分野における環境・エネルギーソリューションを手がけるNASKEO環境（札幌、宮田昌利社長）は、フランスを拠点とするバイオガス技術・エンジニアリング企業Naskéo Environment（以下、Naskéo）と、環境の株式譲渡および増資を

通じた戦略的パートナーシップを締結した。6日、仏日連携による新たな事業体制の構築を記念し、道庁の協力のもと、道庁赤レンガ庁舎で調印式が行われ



目を集めている。

今回のパートナーシップは、こうした欧州由来の先進的な小規模バイオガス技術を、本道の酪農環境および日本の制度・市場特性に適合させながら、道内はもとより、日本全国への展開を図ること

を目的としたもの。あいさつした宮田社長は「フランスでは小規模農家でも共同でバイオガス施設を運営している」と紹介した上で、日本、とりわけ本道においては「大量の家畜ふん尿が発生しており、これを活用した再生可能エネルギー創出の大きなポテンシャルがある」と強調。3社それぞれの知見を生かし

ける正規販売代理店。これまでに道内で3件の稼働実績を有しており、酪農現場における家畜ふん尿の適正処理と再生可能エネルギーの創出を両立する技術として、地域循環型社会の形成に大きく寄与するものと注目を集めている。

この日の調印式では、Naskéoのクリスティーナ・ルージュエツフ社長と